

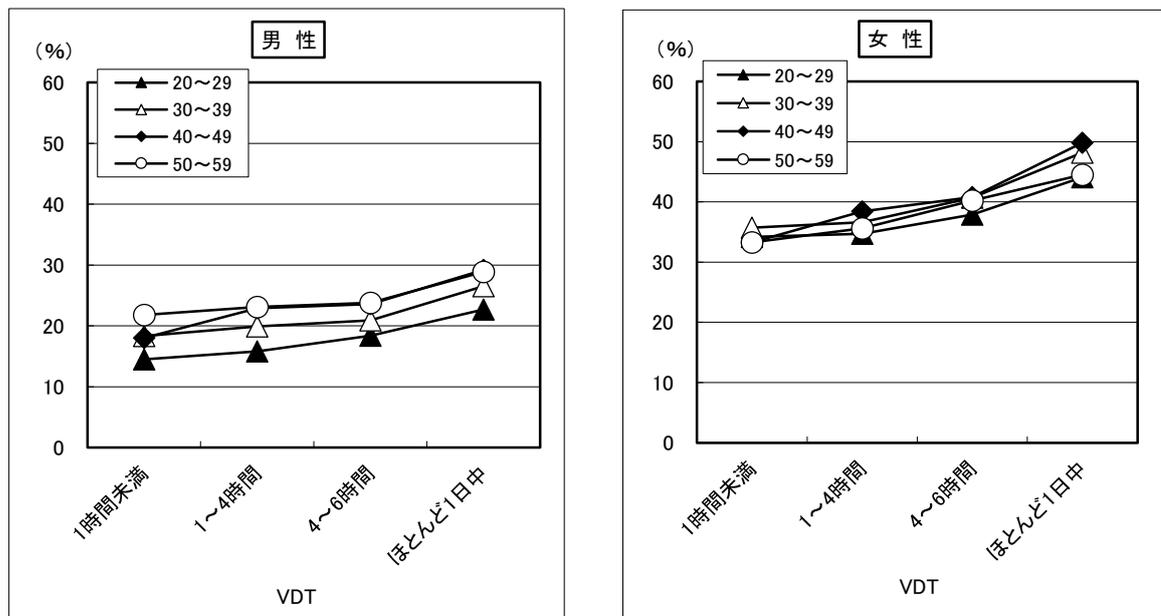
調査事例：VDT 作業と自覚症状〔肩、腕、首筋のこり・痛み〕

環境・健康

某健診機関での健康診断の受診者について、VDT 作業時間と自覚症状〔肩、腕、首筋のこり・痛み〕の訴え率の関係を男女別、年代別に調査した結果を下記図に示しました。男女、各年代とも VDT の作業時間が長くなるとともに自覚症状〔肩、腕、首筋のこり・痛み〕を訴える割合が増加しています。

肩、腕、首筋のこり・痛みなど、VDT 作業による頸肩腕等への影響が認められる場合は「VDT 作業における労働衛生管理のためのガイドライン」などに基づく作業管理などの状況の把握と事後措置が必要です。

VDT 作業と自覚症状〔肩、腕、首筋のこり・痛み〕



令和元年7月12日から、『VDT ガイドライン』は『情報機器ガイドライン』となっていますが、VDT ガイドラインの基本的な考え方については変更されていません。

kes サポート

課 題	kes サポート
作業環境管理の状況調査	情報機器作業ガイドラインに基づく調査
作業管理の状況調査	情報機器作業ガイドラインに基づく調査
作業環境等の改善	労働衛生コンサルティング
作業者の衛生意識の向上	労働衛生教育